

静電三法からの GP 酵素風呂

人間は無菌状態では生きられません。
腸内細菌、微生物の働きで栄養を身体の中に吸収しています。皮膚も常在細菌が体重の6%いると言われていています。
常に常在細菌が皮膚を守っています。

日本中に酵素風呂は何千という数があり、どこも長く続いています。効果があるのです。
酵素風呂の基本パターンは米ぬかを発酵させ、米ぬかの発酵熱を利用して免疫力を上げ身体を癒やす、です。
その為に米ぬかの中に色々なものを入れてそれぞれの店の個性を出されています。
一般的な酵素風呂の微生物は乳酸菌とアミノ酸です。
菌は60度を越えると死んでしまいます。

それに比べ、GPの酵素風呂は静電三法の理論から独自の開発で出来あがったものです。
植物波農法から土壌の嫌気性の強い微生物にエネルギーをかけて発酵させ酵素に。
植物から好気性の強い微生物にエネルギーをかけて同じように酵素に。
それらの酵素を混ぜ合わせ、米ぬかに桧のパウダー、酒粕等を発酵させるのです。

物質変性法からの漢方上薬のエネルギーを持った、二次加工した大理石を酵素風呂の床の底に敷きます。
その大理石は気の高いエネルギーを出しているのです。

漢方の神農本草経の上薬に、命を養うを主どり、無毒。人を傷れず。身を軽くし、気を益し、老いず、とあります。
この大理石の漢方上薬のエネルギーが高いエネルギーなので、GP酵素風呂の米ぬか等の発酵温度が75度にもなるのです。

人体波健康法から、人間は波動の影響を受けます。
漢方上薬の気の影響を受けます。
気力、体力が上がり、免疫力が上がります。
酵素の影響も受けます。新陳代謝も良くなります。